



「アジア太平洋都市サミット」は、アジア太平洋地域の都市の首長が一堂に会して、様々な都市問題の解決に向けた相互協力のネットワークを構築することを目的に、1994年から隔年に開催されています。

この都市サミットを補完するものとして位置づけられている「実務者会議」は、行政の第一線で活躍している実務者たちが情報交換や意見交換、さらに実技研修を通して相互に学び合うもので、都市サミットの翌年に開催されています。この会議では、これまで「交通問題」や「ごみの処理処分」をテーマとして採り上げてきました。特に、1997年に福岡市で開催した第2回実務者会議においては、「福岡方式」といわれるごみの埋立て技術を紹介しましたところ、これがきっかけとなり、国連人間居住センター（ハビタット）を通じて会議参加都市等への技術協力が実現するなど、より具体的な成果へと結びついております。

今回は「安全な水道水の供給」をテーマとし、事例発表等の会議や水質試験所での実技研修、水管理センター等の視察を通して、発展する都市の中で質の良い安全な水道水の安定供給をいかにして行っていくかについて活発な意見交換や情報交換を行うことができました。都市のシステムや抱える問題は様々でしたが、その解決策には共通するものが多数有り、上水道分野での都市間ネットワークづくりへ一歩前進することができ、大変有益なものとなりました。この経験をもとに、アジア太平洋地域の持続可能な発展に寄与できますよう、今後も参加都市の皆様と共に取り組んで参ります。

最後に、会議の開催に多大なるご協力をいただきました九州大学大学院の内海英雄教授、国際協力事業団の山本敬子国際協力専門員、事例発表を引き受けてくださいましたシンガポール、上海市、北九州市、ホーチミン市、そして大変参考となる情報やご助言をいただきました国連経済社会局、国連人間居住センター（ハビタット）、はかた夢松原の会に対し、心から厚くお礼申し上げます。

福岡市長

山崎 広太郎

市長表敬



参加都市代表と福岡市長
 (バンコク市: サオワラック・ティファラクル地域開発局長)

会議



九州大学大学院: 内海英雄教授 (基調講演)

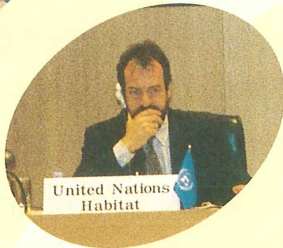


国連経済社会局:
 米川佳伸 計画調整官

国際協力事業団:
 山本敬子 国際協力専門員



国連ハビタット:
 グラム・フィリップ・アラバスター
 人間居住オフィサー



はかた夢松原の会: 川口道子代表



はかた夢松原の会: 坂本紘二氏



歓迎レセプション



福岡市：友池一寛助役
(歓迎あいさつ)



釜山広域市：李舜衡華明浄水事業所所長
(参加者代表あいさつ)



福岡市：川口一隆総務企画局長
(乾杯あいさつ)



実技研修 (フィールドワーク)



水質試験所会議室にて



水管理センターにて



水質試験所試験室にて

行政視察



多々良浄水場にて



多々良浄水場屋外



キャナルシティ博多水再利用施設内

